

平成30年発生

国土交通省所管公共土木施設災害の状況

高野線（垂水市二川地内）



6月26日～7月8日の梅雨前線豪雨及び台風7号の豪雨による被災直後



完成後

令和元年12月

鹿児島県土木部

は し が き

平成30年は、全国では平成30年7月豪雨、台風21号及び北海道胆振東部地震の発生など、全国各地で大きな災害が発生しました。

特に西日本を中心に多くの河川の氾濫、がけ崩れ等が起こった平成30年7月豪雨では、多くの観測地点で観測史上1位を更新する大雨となり、200名を超える犠牲者、2万棟を超える浸水被害など甚大な被害が発生しました。

また、最大震度7を観測した北海道胆振東部地震では、北海道全域で大規模停電が発生するなど市民生活等に大きな影響を及ぼしました。

本県では公共土木施設が被災した異常気象は、梅雨前線豪雨や台風による被災など計17回発生しました。

特に9月に発生した台風24号は、県内各地に大きな被害をもたらしました。

台風24号は9月29日、30日に本県に接近し、屋久島町で440mm、鹿屋市で380mmの連続雨量を、奄美市で40.0m/s、天城町で29.9m/sの10分間平均の最大風速を記録するなど風雨とも強く、この台風による被害額（査定決定額）は、県工事49箇所約8億7千万円、市町村工事63箇所約14億5千万円、合計112箇所約23億2千万円となりました。

平成30年災の被害額は、合計で314箇所、約45億5千万円となりましたが、そのうち台風24号の被害額は、約51%を占めています。

復旧状況は、被災箇所の早期復旧に努めた結果、平成31年3月末までに全体の44.6%に当たる140箇所が、令和元年11月末までに91.7%に当たる288箇所が完成しています。

本県は、災害を受けやすい地理的、気象的諸条件下にあります。 「安心して生活できる鹿児島、防災で日本一に！」を旨とし、梅雨前線豪雨や台風などによる自然災害の未然防止に努め、また、災害が発生した際は速やかな災害復旧に努めることとしております。

ここに、平成30年発生 of 国土交通省所管公共土木施設災害の状況を収録しました。今後の防災及び災害復旧の参考にしていただければ幸いです。

最後に、本県の災害査定に際して、御指導、御協力をいただきました国土交通省の災害査定官、検査官、事務官及び財務省の立会官各位並びに災害復旧に御尽力いただいた関係各位に対しまして、心から感謝申し上げます。

令和元年12月

鹿児島県土木部長 児島 優一

目 次

I 災害の概況と対策

1	概況	1
2	災害対策の促進	1

II 異常気象別災害の概況

1	平成30年発生 of 異常気象別災害状況 (決定額)	2
2	主な異常気象別決定額内訳	2
3	平成30年発生災害地域振興局等別・工種別災害報告額	4
4	平成30年発生災害工種別決定額	4
5	平成30年発生災害の査定申請額及び決定額 (地域振興局等別・工種別内訳)	6
6	平成30年発生災害の被災原因別・工種別分類 (県・市町村別内訳)	8
7	災害異常気象別・地域振興局等別決定額	11
8	工種別工事規模別分類表 (決定額)	30
9	市町村被災原因別分類 (決定額)	32
10	平成30年発生災害の市町村別査定申請額及び決定額	50
11	実査・机上別分類	62
12	失格箇所調	62
13	欠格箇所調	62

III 平成30年発生災害の改良復旧事業

1	改良復旧事業	63
---	--------	----

IV 異常気象の概況

1	異常気象別各地の降雨状況	64
2	気象概況と出水の状況及び一般被害	68

V 参考資料

1	平成30年発生公共土木施設災害復旧事業査定日程表及び班編制	149
2	激甚災害に係る特定地方公共団体調べ (平成21災～30災)	151
3	平成30年発生災害に係る市町村別事業費及び国庫負担率	152
4	過去10年の公共土木施設災害復旧事業査定結果	153
5	過去10年の公共土木施設災害復旧事業決定額	155
6	過去10年の公共土木施設災害復旧事業箇所数	156
7	平成30年発生災害公共土木施設災害復旧事業地域振興局等別決定額	157
8	平成30年発生災害公共土木施設災害復旧事業地域振興局等別箇所数	158
9	平成30年発生災害の決定額及び比率	159